

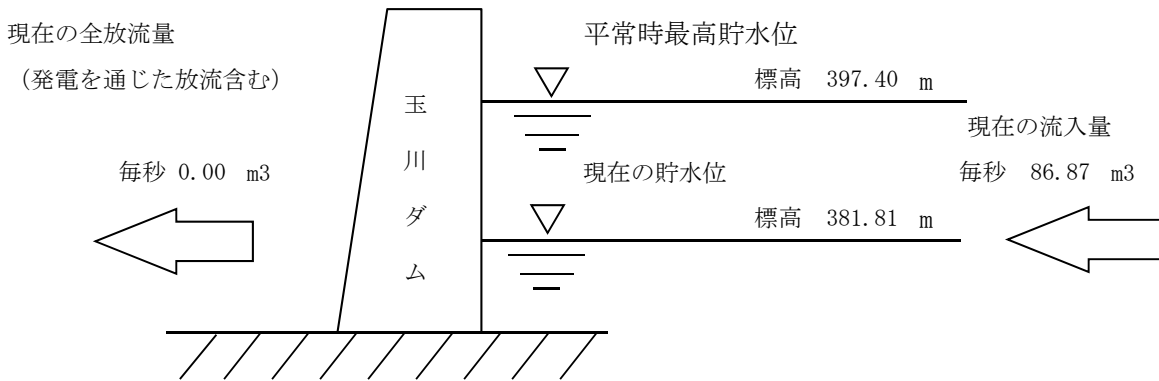
【防災情報】 低気圧の影響に伴う降雨による防災情報（第4報：終報）

国土交通省 玉川ダム管理所では、低気圧の影響に伴う降雨により10月2日（金）1時00分より「災害対策支部」を設置し、防災操作による洪水の貯留を行っていましたが、ダムへの流入量が減少し今後玉川ダム流域でまとまった降雨が予測されないことから10月2日（金）12時00分に『注意体制』を解除しました。
なお、今回の玉川ダムによる洪水調節効果（速報値）は次ページのとおりです。

1. 玉川ダムの現在の状況

10月2日 11:30時点のダムの状況は以下のとおりです。

- ・ ダム貯水位： 標高 381.81 m
- ・ ダム流入量： 毎秒 86.87 m³
- ・ ダム放流量： 毎秒 0.00 m³ （発電のための放流含む）
- ・ 流域平均時間雨量： 1時間に 0 mm （10月2日 10:00～ 10月2日 11:00）
- ・ 流域平均累計雨量： 降り始めから 73 mm （10月1日 19:00～ 10月2日 7:00）
※ダム流域で6時間雨が確認されない場合、流域平均累計雨量が0mm（リセット）となります。



問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所
管理所長 高橋 淳 （内線：201）
管理係長 小野 一 （内線：332）

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

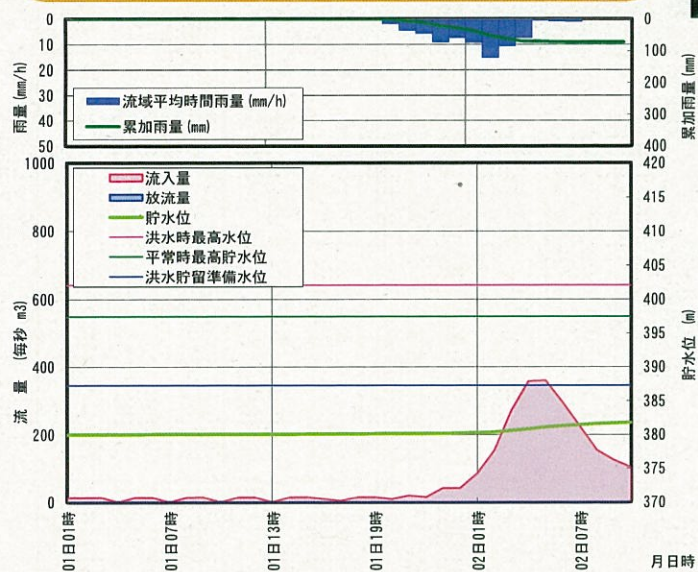
TEL：0187-49-2170 / FAX：0187-49-2166

10月2日 低気圧の影響による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒373.67m³ (2日4時) を記録しました。2日2時には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m³) に達し、洪水調節を開始。約511万m³をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



流域平均時間雨量最大
1時間に15.2mm
(2日2時)
流域平均累加雨量
73.6mm



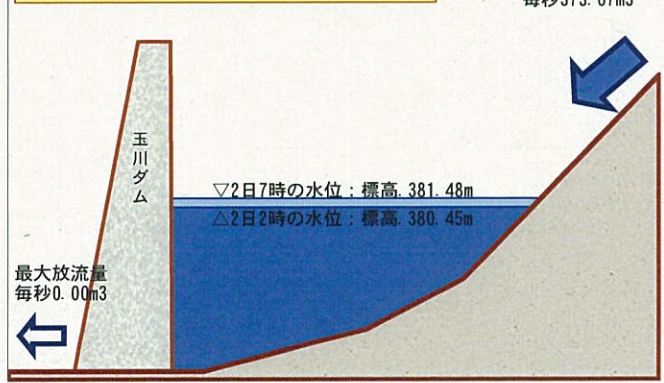
最大流入量 毎秒
373.67m³ (2日4時) のうち、毎秒 約
373.67m³ (100%) をダム
に貯め込みました

下流河川(大仙市長野地点)での水位低減効果

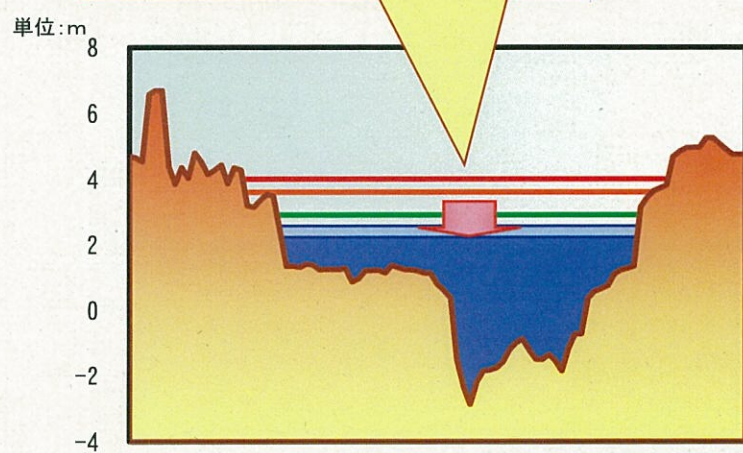


玉川ダム・鎧畑ダムの洪水調節効果により、水位が約0.4m低下

玉川ダム洪水前後の貯水位及び貯水量



これは、
東京ドーム 4個分 (124万m³)
セリオン (秋田ポーター) 8個分 (約68万m³)
25mプール 10,220杯分 (約500m³) に相当します



※数値は全て速報値です。